# 平成３１年度当初予算（一般会計）各部予算要求の状況に対する意見への回答

| 受付順 | 各部の主要事業 | 所管課 | 意見 | 平成３１年度当初予算における対応状況及び市の考え方・今後の方針 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | － | 財政課 | 2019年10月の消費税増税の影響が十分反映されていない。2020年になるのかもしれないが、消費税増税で地方交付分の増減をどの程度見込んでいるのか？政府の景気回復の見込みは楽観的過ぎないか？それに基づく予算編成に疑問を感じる。個人的には景気回復を全く感じられないのだが。 | 平成31年10月から予定される消費税の増税に係る当初予算への反映については、歳入にあっては、国が示した平成31年度の地方財政の収支見通しや、埼玉県の予算計上に関する情報等を踏まえ、また、歳出にあっては、平成31年10月以後の支出見込等に基づき、それぞれ計上額を整理し、予算に反映しました。 |
| 2 | ３２　学校規模等適正化検討協議事業 | 教育総務課 | 昨年も意見提出させていただきました、学校の統廃合の進捗はどうなっていますでしょうか。予算でも学校規模等適正化検討協議事業があがっているようですが、実際に統廃合につながる時期を教えてください。また、昨年も意見させていただいた通り、我が家は公団で住み続けたかったにも関わらず、教育環境への不安から西小学校区に移住しました。他にも小学校に上がるタイミングで市外に移住をするという話を聞いています。実際、１学年５人になるという状況は、教育環境として、正しい姿なのでしょうか。教育環境や財政状況を踏まえ、学校統廃合の早期実現を希望します。<br><br>（昨年度意見）<br>現在、栄小学校校区で５歳児を育てています。子供が小学校に上がるタイミングでの、他市または他学校区への転出を検討しています。それは、栄小の児童数が非常に少なく、一度いじめにあったらどのように学校生活を送らせればよいのか、学校ならではの大人数での共同生活を経験できないなど教育環境に不安があるからです。栄小学校区では私と同じように、小学校に上がるタイミングで転出する家庭も多いと聞きます。財政状況が厳しいと伺っています。家庭や子供のためにも、財政のためにも、学校の統廃合をしっかり検討していただきたいです。 | 学校の適正規模の基準を表わす「北本市立学校の適正規模等に関する基本方針」に基づき、基準に適さないと判断される学校について、適正化の方向性を具体的に検討・協議するための「検討協議会」を設置し、学区の見直しや学校統廃合といった適正化の対応の方向性について協議していきます。この「検討協議会」を通じて、保護者の方や地域の方と意見を交わしながら、適正化の検討・協議を進めていくため、ご意見にあります統廃合等の具体的な時期について現段階では申し上げられませんが、教育環境の改善の観点を主に置きながら検討を進めてまいります。<br>当初予算対応状況：　学校規模等適正化検討協議事業　297千円 |
| 3 | ２　シティセールス推進事業<br>１３　森林セラピー事業<br>１４　農業ふれあいセンター賑わい創出事業<br>１５　北本ブランド創出事業<br>１６　農家のごちそうレストラン事業<br>２９　久保特定土地区画整理事業特別会計繰出金 | ２:企画課<br>１３～１６:産業振興課<br>２９:久保土地区画整理事務所 | ２　シティセールス推進事業<br>１３　森林セラピー事業<br>１４　農業ふれあいセンター賑わい創出事業<br>１５　北本ブランド創出事業<br>１６　農家のごちそうレストラン事業<br>２９　久保特定土地区画整理事業特別会計繰出金<br><br>１３～１６は不要です。市民の税金は市民の生活向上のために使ってください。回収見込みのない投資はただのムダ遣いであり「稼ぐまちづくり」ではありません。また、久保土地区画整理事業は一旦休止し抜本的に計画を見直すべきです。 | ２　シティセールス推進事業<br>現在、「北本市シティプロモーション推進方針」の策定を進めており、平成31年度から企画課にシティプロモーション担当を新設します。推進方針では、市民のまちへの愛着やシビックプライドの醸成を図るとともに、市外の方の認知度の向上やいわゆる「関係人口」の増加を図ることとしており、行政職員による単なるまちのPRではなく、市民や市内事業者が参加する「オール北本」の取組を進めていく予定です。なお、本事業の財源として、埼玉県ふるさと創造資金の申請を行うこととしています。<br>当初予算対応状況：5,000千円<br><br>１３　森林セラピー事業<br>森林セラピーは、科学的根拠に基づいた森林浴による癒しや保養を目指すものであり、特定非営利法人森林セラピーソサエティによる審査により認定された森だけが「森林セラピー®」を使用することができます。本市の里山や雑木林などの緑豊かな自然に「森林セラピー」という科学的な裏付けが加わることで、健康増進効果が今まで以上に期待ができ、また、県内初の認定取得となれば、市の知名度向上及びイメージアップにも繋がり、来訪者が増加することで、地域経済の活性化が期待できます。平成３１年度は、認定取得により森林セラピー基地としてグランドオープンをするべく、看板設置やパンフレット作成、ガイド育成、イベント開催等に必要な費用を計上しています。なお、本事業の財源として、埼玉県ふるさと創造資金の申請を行うこととしています。<br>当初予算対応状況：11,406千円<br><br>１４　農業ふれあいセンター賑わい創出事業<br>農業ふれあいセンター賑わい創出事業は、第五次北本市総合振興計画において、各種産業の振興を総合的に推進するとともに、様々な地域資源を活用した「活力あふれるまち」を目指しており、農業振興においては「付加価値の高い農業の推進」のため、北本市農業ふれあいセンターの施設の充実を主な取組として位置づけています。そこで、北本市農業ふれあいセンターを「活力あふれるまち」の「地域資源を活かした稼ぐまちづくり」拠点とともに本市の情報発信拠点として形成し、農業振興及び地域経済の活性化を図るため、北本市農業ふれあいセンターのリニューアルを行います。平成３１年度は、平成３０年度第二次補正予算の国庫補助金を活用し、農業ふれあいセンターのリニューアル工事を平成３０年度予算（３月議会補正予算計上）を繰り越して実施するとともに、施設東側の農地の活用に係る検討会の実施を予定してします。<br>平成３０年度補正対応状況：162,199千円　当初予算対応状況：292千円<br><br>１５　北本ブランド創出事業<br>第５次北本市総合振興計画に掲げられている「付加価値の高い農業の推進」を振興するため、市内農産物等の地域資源を活用した地域ブランド化に取り組んでいきます。なお、本事業の財源として、埼玉県ふるさと創造資金の申請を行うこととしています。<br>当初予算対応状況：3,350千円<br><br>１６　農家のごちそうレストラン事業<br>「付加価値の高い農業の推進」のため事業化を検討しましたが、予算計上をしないこととしました。<br><br>２９　久保特定土地区画整理事業特別会計繰出金<br>久保土地区画整理事業は、平成29年度末の進捗率は39.5%となっていますが、遺跡の保存方針などを早急に定め、事業計画の見直しも含め進めてまいります。<br>当初予算対応状況：　251,818千円 |